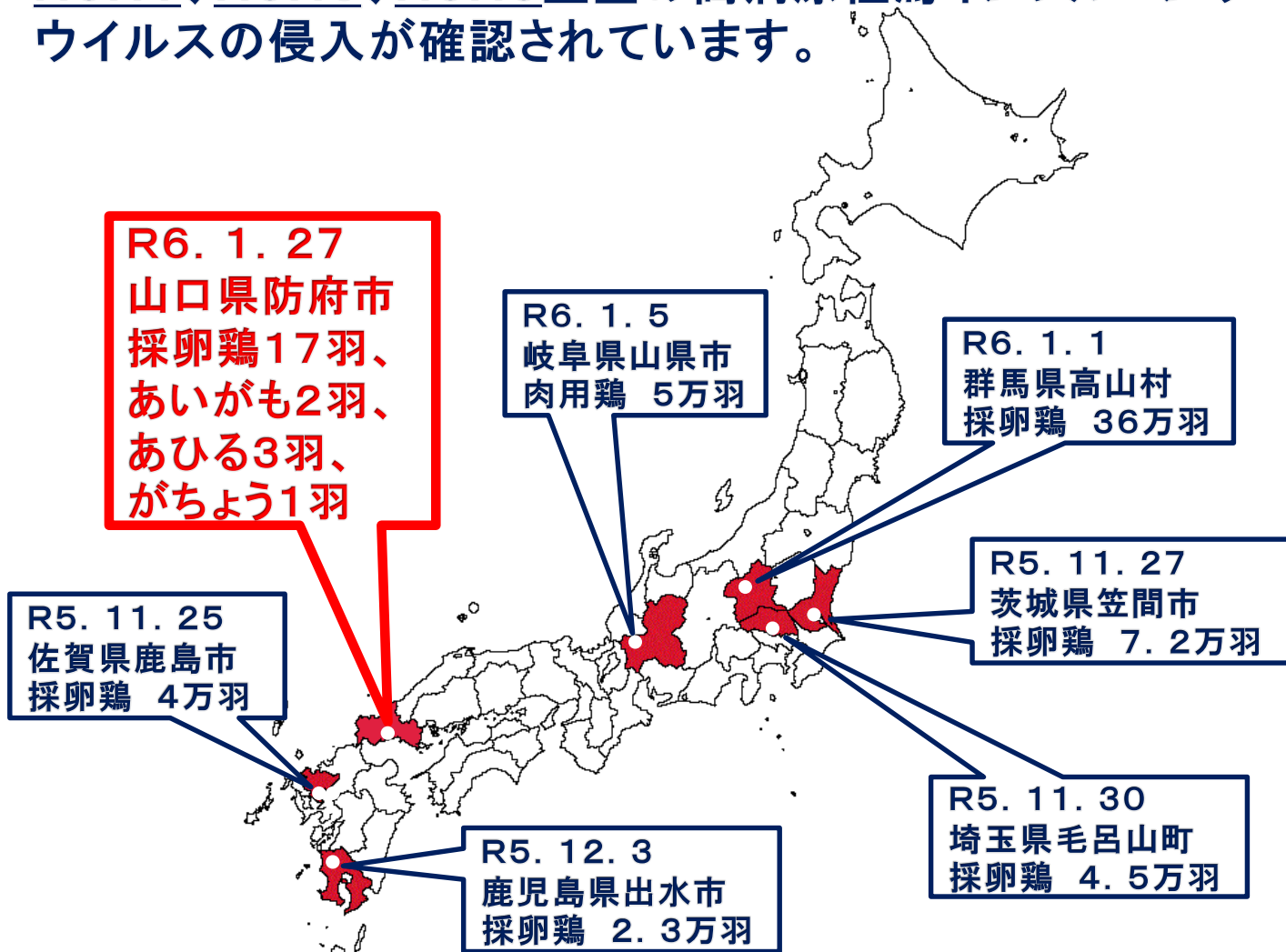


養鶏農場で高病原性鳥インフルエンザ今シーズン7例目

◆山口県の小規模家きん飼養で今シーズン7例目の発生が確認されました。現在、日本国内には判明しているだけで H5N1、H5N6、H5N5亜型の高病原性鳥インフルエンザウイルスの侵入が確認されています。



- ◆年明け養鶏農場等の発生は3例目となります。死亡野鳥等の陽性事例も依然続いているので、警戒を続けてください。
- ◆飼養衛生管理基準の遵守を基本に、農場に出入りする人、資機材、車両等の消毒など衛生対策、普段は目が届きにくい場所も含んだ野生鳥獣の侵入防止、毎日の健康観察と異常の早期発見・早期通報の徹底をお願いします。